

## 花嫁続々 漁村生き生き

～島が挑んだ800日の軌跡～

菅島漁業協同組合青壮年部

松村 勝之

### 1. 地域の概要

鳥羽市は三重県の東端に位置し、北には波静かな伊勢湾、南には黒潮踊る熊野灘を有した風光明媚な伊勢志摩国立公園の海の玄関口である(図1)。

菅島は、本土から市営定期船で約20分の伊勢湾口に浮かぶ漁業と観光業が中心の人口900人余りの離島であり、その年の豊漁と海上安全を祈願する伝統的な地域の祭りである「しろんご祭り」は有名である。

### 2. 漁業の概要

菅島漁業協同組合に所属する208名の組合員は豊かな海の幸に恵まれて、海女漁業や一本釣、延縄などを主体とした沿岸漁業に加え、冬場には黒ノリ、ワカメの養殖業を盛んに営んでいる(図2)。

### 3. 組織と運営

菅島漁協青壮年部は昭和60年に創部された組織で、現在42名の漁業者が所属しており平均年齢は32歳である。主な活動内容はアワビ、赤ウニの中間育成・放流やアカガイ養殖であり、資源管理型漁業にも積極的に取り組んでいる。また、花嫁対策事業についても力を入れており地域を支えるグループとしての活動も行っている。

### 4. 活動課題選定の動機

漁業関係者の花嫁不足問題は後継者問題と並んで重要な課題であり、菅島地区においても島内同士での結婚話は殆どない状況であった。そのため花嫁不足に関して以前から危機感を抱いており、独身男性の間では島外女性との交流会の開催要望が強く、運営のための組織結成が待ち望まれていた。

こうした中で平成6年に町内会主催の交流会を開催したところ2組のカップルが誕生し結婚に至った。一方で、島暮らしに魅せられて嫁いでくる女性が最近5年間で急速に増え、現在では50歳以下の既婚女性110名のうち27名は島外出身者であるという背景が見えてきた。

そこで、菅島の魅力を島外の女性達にアピールすることで島の良さを知ってもらうことが、花嫁問題の根本的な解決になるとともに島全体を活性化するのではないかと考え、平成8年に漁業者を中心とする島内独身男性18名で男女の交流の場づくりを目的とした「アネストクラブ」を結成した。なお、アネスト(Earnest)とは英語で、「まじめな、本気の」を意味する。

## 5.活動の状況及び成果

### (1) 交流会の概要

活動に当たり、メンバーが一丸となって漁村が抱える花嫁問題に取り組む事となり、平成6年に行われた交流会を参考にして、男女が知り合えるイベントの実施に向けて動き出した。

2日間にわたって行われる交流会では、事前準備として自分達で近隣の飲食店や旅館を回りビラ(図3)を配布したり、時には新聞広告を出して参加女性の募集を行う。予め会員紹介ファイル(図4)を見て男性のプロフィールを知った参加女性は自費で鳥羽まで来て、大漁旗を掲げた漁船で男性に出迎えられる。その間に島では島民全員が岸壁で来島歓迎の準備を着々と進めている。

初日は設営会場での対面となり、自分達が愛情を十分にそそぎ込んだ漁村ならではの料理を囲みながらお目当ての異性との会話で盛り上がる。その後の個別行動は禁止しているため、参加女性達は約2時間のパーティーが終わると宿に帰る。

2日目は浜辺で、新鮮な魚貝類を使ったバーベキューを行い、前日に好意をもった異性との会話で楽しいひとときを過ごす。その後いよいよ告白タイムとなり、それぞれ自分の意中の女性に交際を申し込み、見事に女性のハートを射止めればカップル成立となる。

### (2) 活動実績

平成8年は「しろんご祭り」に併せて行われる海女カーニバルとの合同開催という形で島内の漁村センターに男性14名、女性9名の参加者を集めて実施し、2組のカップルを結婚させることができた。

平成9年に「しろんご祭り」の終了後、伊勢市の県営サンアリーナで男性16名、女性6名の参加者を集めて行い、1組のカップルを結婚させることができた。

本年度は3, 5, 7, 10月の計4回の交流会を開催した。

3月の交流会前にテレビ朝日(株)から鳥羽市に、花嫁不足で悩む地区の照会があった。市側は菅島地区を候補として選出していたため取材されることになり、島内独身男性8名と女性9名が参加した模様が4月にスペシャル番組枠の1つとして全国に放送された(図5)。このときには1組が現地で、もう1組はスタジオでそれぞれカップルとなった。なお、この番組終了時にはテロップを流し5月に予定されていた交流会への参加募集も併せて行った(図6)。その効果もあって5月の交流会には18名の女性から参加があり、3組がカップルとなり結婚した。

7月は事前の募集では参加希望者がなかったため開催が危ぶまれたが、3月と5月に参加したがカップルになれなかった女性や、旅館組合からの働きかけにより最終的に8名の参加申し込みがあり、しろんご祭りの後に島内で場所を変え行われたが残念ながらカップルは誕生しなかった。

10月は7月に開催した交流会の反省を踏まえ、町内会の資金援助が得られたため新聞広告を出し、東海3県から16名の参加を得た。宣伝が功を奏し、5月に並ぶ3組のカップルが成立し1組が結婚、2組が現在交際を続けている。

なお、参加女性の食費・宿泊費はアネスト側が負担するが、それ以外の経費は参加者負担であるにも関わらず、北海道、福島県、埼玉県、奈良県、福岡県など

の遠方からの参加があり、結婚に対する勢いが感じられる。カップルとなった参加女性の家族には遠距離や島での生活を心配する声があるが、自分の将来は自分で決めるという本人達の強い決心に任せているようである。また、本人達にとって愛する人のためであれば嫁ぎ先が離島や漁村地区であるということは全く障害になっていないようである。

## (2) 成果とその分析

他の漁村地区においても同様のイベントを企画して花嫁問題に取り組んでいるが、あまり成果を出せていない。しかし、この3年間において当地区で結婚した16組のうち10組がアネストクラブのメンバーであったという成果を出せたのは(図7)、マスコミの力による部分もあるがそれは単なるきっかけに過ぎず、むしろメンバーの人間性に加え、

- ①「アネストクラブ」という独身男性による独身男性のための組織を結成し、自分達のことを真剣に考えた。
  - ②菅島の魅力を参加女性に十分に伝えられた。
  - ③自分達の気持ちと島全体の気持ちが合致して花嫁問題に取り組んだ。
  - ④個人個人が人生の目的に向かって進んだ。
- 以上のことが大きいと考える。

## 6. 波及効果

これまでに、6回の交流パーティーを開催してきて、以前は引っ込み思案だった自分達も女性と接することに対して自信を持ち、明るい性格になった。そして、カップルが成立するにつれ島民全員の応援ムードが高まり島内の雰囲気良くなってきた。また、会員のほとんどは漁業関係者であるため時間調整が難しい中で、漁から上がって一睡もせず交流パーティーの運営会議に参加したり、深夜や早朝からの漁があるにもかかわらず夜遅くまで会場準備に追われたり、東京や名古屋まで出かけて自らをアピールしたりするなど、とにかく前向きに花嫁問題に取り組むことで全員の中に強い団結力が生まれた。

全国的に離島の人口減少と高齢者率の増加が問題視される中で、若い人の結婚が飛躍的に増えるということは最近では珍しいことであり、そのことこそが離島振興につながると考えている。

## 7. 今後の課題や計画と問題点

現在までの実績として17人のメンバーのうち10人がカップルになり、そのうち10月には4組、11月には1組がすでに挙式を終え、来春には3組がそれぞれ鳥羽市内のホテルで挙式をする予定となっている。

このように徐々に成果が現れ始め、交流会に寄せられる島内からの期待が高まる一方で、現メンバー内でも40歳代が2人残っており本人達に焦燥感があるため、島民全員でクラブを盛り上げていきたい。そして、カップル数を増やすことで花嫁問題で悩む他地区の希望となるとともに、後継者問題の一助となればよいと考えている。また、行政サイドとの連携により教育や医療等の生活環境を充実させることで、

菅島に嫁ぐ女性達が住みやすくなる漁村づくりを目指し、苦勞を乗り越えてようやく手にした幸せを決して失わないように頑張っていきたいと考えている。

余談ではあるが最近ではアネストクラブのほかにもアイランドクラブという別組織が島内で活動を開始しており、11月にはお見合いツアーという名目でアイランドクラブが交流会を実施したり別のテレビ番組や新聞に取り上げられる(図8)など菅島の活動が注目されてきている。

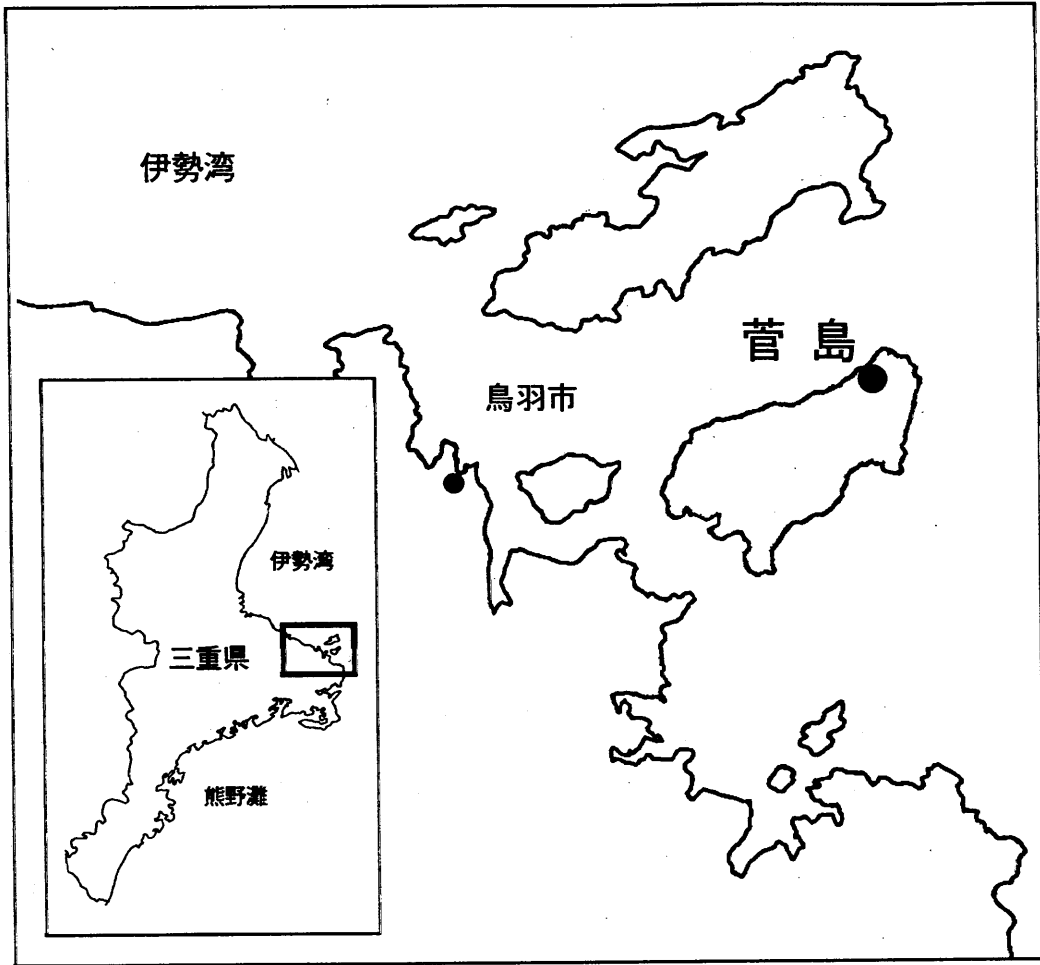


図1 位置図

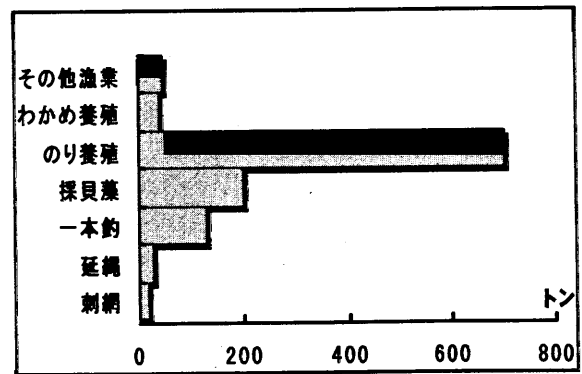
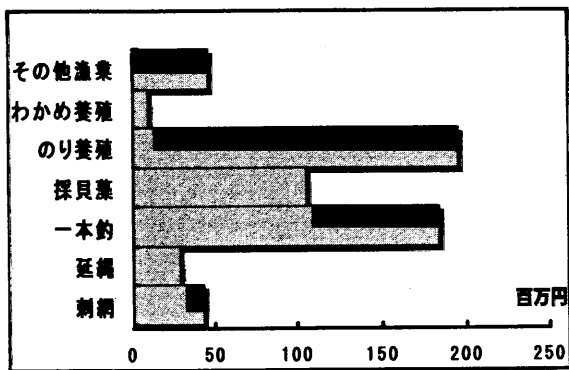


図2 漁業種類別生産量及び生産額(平成9年)

# 海女さんカーニバル!!

## 募 集

参加料金 (カーニバル 1,000 円  
宿泊〈食事込〉 1,000 円)

日 時 7月11日(金)

### 〈しろんご祭り〉

○ ホラ貝を合図に白い着飾の海女が一斉に白浜の海へ……

### 〈海女さんコンテスト〉

○ 白い着飾を着てみませんか?

### 〈アワビ・サザエ・大アサリのつかみどり〉

○ 昨年大活躍だったこの企画今年も参加しませんか!

### 〈新鮮な魚貝類のバーベキュー〉

○ 地元でとれた、つかみどりでとれた、すぐにやける。

### 〈かんけい会〉

○ 地元の青年と食べて、飲んで、ゲームして!

申込先 宮城県仙台市青葉区 0599(34)2211  
Fax 0599(34)2426

申込先締切日 6月30日(月)

## 海の男の料理 第2弾!

愛はとどきますか?

### 1. 開催日時

平成10年5月9日(土)～5月10日(日)

#### ・集合

平成10年5月9日(土)

近鉄鳥羽駅午後4時(別紙参考)

- ・集合後、4:30分発のチャーター船で宮島へ向かいます。
- ・時間にまにあわない方は連絡をして下さい。

### 2. 費用負担について

- ・鳥羽駅に集合されるまでの交通費並びにイベント終了後の鳥羽駅からの交通費は全て自己負担とさせていただきます。
- ・宮島での宿泊、イベントに關しての費用はいりません。

### 3. 宿泊先について

- ・ペンションまいはうす ☎(0599)-34-2214

### 4. 用意するもの

- ・宿泊になりますので宿泊の出来る用意。
- ・10日の午前中天気によければ海辺でのバーベキューを予定しておりますので少々汚れてもいい服装。

※ただし雨天の場合変更があります。

・常備薬。

### 5. その他

- ・今回の企画内容についてはこちらでゆめさせてもらいます。
- ・以上の内容について、わからないこと 質問のある方は下記の電話までお問い合わせ下さい。

・連絡先 ・後村勝之(0599)-34-2144  
PM6:00～9:00まで

・中村幸弘 020-343-7795  
AM9:00～5:00まで  
(0599)-34-2381  
PM7:00～9:00まで

図3 配布ビラの一例

プロフィール	
住所	宮城県仙台市青葉区
氏名	[REDACTED]
生年月日	1955.1.3
身長	173cm
職業	釣師(仕事)
年収	800万円
学歴	東北芸術大学
趣味	釣、音楽、読書、旅行
性別	長男
TEL	[自宅] [REDACTED]
	[勤務先] [REDACTED]
相手に対する希望	
明か 活発な人	
プロフィール	
住所	宮城県仙台市青葉区
氏名	[REDACTED]
生年月日	昭和34年11月19日
身長	170cm
職業	漁師
年収	1200万円
学歴	中学
趣味	
性別	
TEL	[自宅] [REDACTED]
	[勤務先] [REDACTED]
相手に対する希望	
優しい人	

図4 会員紹介ファイル



図5 全国放送された番組タイトル



図6 参加を募集したテロップ

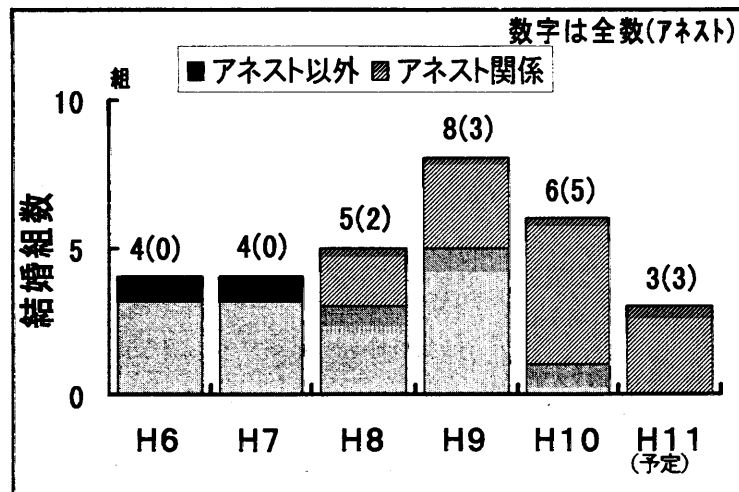


図7 アネストクラブの結婚実績



結婚ラッシュ音島

頑張れ新婚さん  
離島も愛してね

音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

周囲はちょっと心配も  
「花嫁が戸惑わないか」母がしやすりした



音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

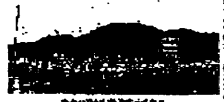
音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

嫁娘女性の方どうぞ



音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。



音島三島



花嫁続々音島へ

音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

TV番組見て「海の男ステキ」

音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。音島は、結婚ラッシュのさなかに、新婚さんを迎えよう。

図8 アネストクラブに関する新聞記事